

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W402	クリティカルケア看護 (Critical care nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	4	後	火・4 火・5	末弘 理恵・佐藤昂太郎・看護部：集中ケア認定看護師・手術看護認定看護師・救急看護認定看護師 内線：5053 E-mail：suehiror@

【授業の概要・到達目標】

クリティカル・ケアを受ける対象とその家族の特徴と看護の実際を理解し、クリティカル・ケア看護の意義を考える。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. クリティカル・ケアを必要とする人および看護の特徴を理解し、看護の専門性を理解する。	○						
2. クリティカル・ケア看護における専門分野（集中治療、手術、救命救急）における看護の実際と専門性を理解する。				○			
3. 事例および実践者のインタビュー等を通して、クリティカル・ケア看護の意義を考える。							○

【授業の内容】

1	クリティカル・ケア看護に関する主要概念
2	クリティカル・ケア看護の実際① ・救急救命看護を受ける対象とその家族の特徴と看護
3	クリティカル・ケア看護の実際② ・集中ケアを受ける対象とその家族の特徴と看護
4	クリティカル・ケア看護の実際③ ・手術室における対象の状態とその看護
5～7	クリティカル・ケア看護の探究 ・テーマ選定：臨地の見学・実習、文献検討等
8	クリティカル・ケア看護のまとめ ・探究課題についての成果発表を行う。

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	各授業後のレポート、最終レポート	・受講者の探究したい課題に沿って、学習内容・方法を定める。
B：意見の表現・交換	○	ゼミ形式の授業、探究課題のグループ検討	
C：応用志向	○	グループによる探究課題の検討・発表	
D：知識の活用・創造	○	探究課題に対する臨地への見学・実習	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	急性期看護関連の授業資料や教科書での予習。探究課題のグループ検討(2h)。
事後学修	各回の授業終了後にミニレポート(A4・1枚程度)をまとめ、学習内容を意味づける(7h)。

【教科書】

・適宜、紹介する。

【参考書】

・適宜、紹介する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
各授業のミニレポート	40%	○	○	○
プレゼンテーション	10%	○	○	○
最終レポート	50%	○	○	○

【注意事項】

【備考】

担当教員の実務経験の有無	<input type="radio"/>	
教員の実務経験	末弘理恵（看護師）、佐藤昂太郎（看護師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	<input type="radio"/>	
教員以外の指導に関わる実務経験者	附属病院の看護師	
実務経験をいかした教育内容	クリティカルケアを必要とする患者・家族の状態がイメージできる様、臨地における具体的な看護実践を伝え、クリティカルケア看護の特徴と専門性を理解できるよう、講義を行う。	
授業形態	面接授業	